

科目名（英文表記）	地域経済・経営Ⅲ（北海道経済の課題） (Regional Economy and Management Ⅲ)		
科目区分	基礎科目	単位数	2 単位
担当教員名	小高 咲（非常勤講師）	ナンバリング	MBA_C_EM 6231
研究室番号	なし	研究室電話番号	なし
Eメール・アドレス	kotaka-sho@hro.or.jp		
授業の内容及び方法： 次頁以降に記載			
<p>授業の目的：本授業では、まず経済の現状や構造をどのように把握するかを学ぶ。次に、それを北海道経済にあてはめ、北海道経済の特徴や現状を把握・分析する。そのうえで、北海道経済の課題と具体的な解決の方向性について考察する。</p> <p>到達目標：北海道経済の構造や課題について各自が自分の理解を持ったうえで、課題解決のための北海道の経済的な基盤強化について、方法論も含めて考察・整理すること。最終成果物は、各自が「北海道経済の課題」と考える事象を抽出し、それに働きかけることがなぜ北海道経済のマクロ的な課題解決に繋がるのかを論理的に示したうえで、具体的な対応策を考察するレポートである。モジュール7と8において、各自がレポートの内容を発表する。</p>			
<p>使用教材： 使用教材は、その都度manaba上で指定するが、例えば以下のレポート等は使う予定である。</p> <p>①「北海道経済要覧2021」北海道経済部経済企画局経済企画課 令和4年7月（北海道HPからダウンロード可能）</p> <p>②「エビデンスから北海道の未来を ―北海道経済白書に向けて―」北海道経済同友会 2019年8月（北海道経済同友会HPからダウンロード可能）</p> <p>③「2050北海道ビジョン ～『課題解決先進地域』のフロントランナーを目指して」北海道経済連合会 2021年6月（北海道経済連合会HPからダウンロード可能）</p>			
<p>成績評価の方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●授業への参加姿勢（授業時における発言、グループディスカッションへの貢献、プレゼンテーション力など） 40% ●事前・事後課題 20% ●最終レポート 40% <p>評価に不服のある場合には、不服申立書をもって教務委員長に申し出ること。</p>			

履修上の注意事項：

●モジュール3まではインプットが中心となる。モジュール4～6ではゲストスピーカーの講義を聴き、モジュール7以降でレポート案のプレゼンとディスカッションを行う。モジュール3までの段階で自分の問題意識を整理しておくことが、その後続くゲストスピーカーの講義やディスカッションをより有益なものにすることに繋がるので、そのような意識で講義に臨むこと。

●「到達目標」に記載のとおり、最終成果物であるレポートは、各自が「北海道経済の課題」と考える事象を抽出し、それに働きかけることがなぜ北海道経済のマクロ的な課題解決に繋がるのかを論理的に示したうえで、具体的な対応策を考察・整理するものである。単に、自分が選択した特定業種や特定産業に係る課題とそこに特化した解決策を示すだけでは、求めるレポートにはならないので、十分注意すること。

●授業内でのプレゼンテーションや講師の問いに対する発言等を通じて、自分の意見を発信することを重視する。プレゼン時間やプレゼンで取り上げるべき項目を遵守し、人に聴いてもらう・理解してもらうことを心掛けること。

●最終レポートの評価に当たっては、「文章を通した発信力」にも着眼する。具体的には、①最低限ビジネス文書として読むに堪えるものであること（誤字脱字がない、文法が整っている、接続詞の誤用がない等）、②個人の意見や想いに止まらず客観的なデータ分析等に裏打ちされていること、③論理の筋道が通っていること、を求める。

●外部実務家の講義を取り入れ、より大きな視点で北海道経済が置かれている状況やその変化を捉えたり、課題解決に向けた最新の動きに触れることを目指す。

●授業は基本的に、本シラバスの記載内容に即して進行するが、授業内で出された意見やディスカッション等を踏まえて変更・修正等を行うことがある。そうした場合には、manaba等でその都度通知する。